

『とうさんはタツノオトシゴ』

エリック・カール／さく さの ようこ／やく
偕成社

タツノオトシゴのかあさんは、とうさんのおなかのポケットにたまごをうみおとしました。とうさんは、ポケットのたまごをまもるとやくそくすると、うみのなかをおよいでいきました。うみのなかには、たまごをまもっているとうさんさかながたくさんいます。

『リュウのむすめとおいしやさん』

たに しんすけ／文 あかさか みよし／絵
佼成出版社

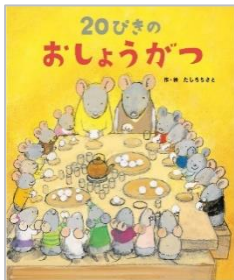
むかしむかし、おきなわのあるむらにどうぶつと、はなしができるおいしやさんがいました。あるよる、おいしやさんがやすもうとすると、とつぜんおおきなかぜがふき、いつのまにかへやのなかには、うつくしいむすめがすわっていて…。

『まゆとりゅう』

やまんばのむすめまゆのおはなし』
とみやす ようこ／文 ふりや なな／絵
福音館書店

あるつめたいはるのあさ、やまんばかあさんがとなりやまをさし、「はるのりゅうがでてきたよ」といいました。まゆが、となりやまをみあげると、ひとすじのくろいじめんが、かおをのぞかせていました。

たつ・おしょうがつのえほん



幼児向け



『20ぴきのおしょうがつ』

たしろ ちさと／作・絵 ひかりのくにもうすぐおしょうがつ。どこのおうちも、おしょうがつのじゅんぴでおおいそがし。それは、ゆかしたにすむちいさなねずみのいえもおなじでした。

『おしょうがつのかみさま』

おくはら ゆめ／作 大日本図書
おしょうがつのかみさまをよぶために、どうぶつたちは、じゅんぴをはじめました。すると、とらがみんなでたべようともってきたおもちが、ぱちっとめをさまして、「わたしがおしょうがつのかみさまなのよ」といいました。

『おしょうがつおめでとはじまりの日！』

ますだ ゆうこ／作 たちもと みちこ／絵
文溪堂
おおみそかにおしょうがつ、ねこのみ～みは、いつもとちがうふんいきに、わくわくそわそわ。みんなはおしょうがつのこと、どれくらいしってる？